

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、平素は、町政の推進につきまして、格別のご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、私は昨年十月の町長選挙におきまして、皆様方のご支援を賜り、二期目の町政を担わせていただくこととなりました。その使命と職責の重大さに、身の引き締まる思いであります。

一期目の四年間を振り返り、多くの方から寄せられた、町政に対する思いや貴重なご意見を踏まえ、心新たに二期目の町政をスタートしたところであります。

また、昨年は、周防大島町が誕生して二十年という節目の年であり、十一月には記念式典を開催し、町の発展等に寄与された方々や団体の皆様を表彰させていただき、多くのご来賓や町民の皆様と、今後のさらなる町の発展への思いを共有することができました。

一方では、人口減少や少子高齢化の進展、複雑多様化する住民ニーズ、脱炭素などの環境問題に加え、物価高騰や人材不足等、各種施策を行う上で、新たな課題に直面しています。町民の皆様と共に、町の未来を考え、「周防大島が一番と実感できるまち」の実現に向けて、財政の健全化を基本とし「安心・安全づくり」「元気づくり」「未来への基盤づくり」の三つを重要政策として位置づけ、取り組んでまいります。

今年の干支は「へび（巳）」であり、巳年は「変化と誕生」の年と言われております。私の町政二期目のスタートには、これほどふさわしい年はないと思っております。

社会情勢に即した町の組織機構を構築していくとともに、暮らしや産業の基礎となる公共交通基盤の確保と利便性の向上、防災・防犯対策、医療介護福祉の充実、産業振興、環境問題などの克服に向け、国・県との連携を強化し、行財政改革の更なるレベルアップを目指し、町民の皆さんのためになる取り組みを提案し、実現に繋げてまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

新たな年を迎えるにあたり、これら課題への取り組みと、地域に密着した事業を中心に、「勇気と真心で、皆さまと共に新しい生活の場所を創り、前例にとらわれない創意工夫で、周防大島の可能性を伸ばす」を目標に、全身全霊で町政を運営してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和七年が町民の皆さまにとりまして最良の年となりますことを心から祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

周防大島町長 藤本 淨孝